

園長のちよとよい話

バタフライクラス

“お昼寝の前に” 読・み・聞・か・せ



今バタフライクラスのお昼寝の前に「読み聞かせ」をしています。初めての日、子どもたちはみんな、お布団の上に正座をして 私を迎えてくれました。「寝たい人は眠って

もいいよ」「寝転がって話を聞いてもいいのよ」という私の言葉に戸惑っている様子がありました。それは いつも人の話を聞くときは 話す人の方を見るのだよ」と言われているのだ



園長 石井 篤子

から 無理ありませんね。みんなにはそういうことがちゃんと身についているんですね。でも この時間は本当に大丈夫なんだとわかると 座ったままの子、リラックスして横になる子と様々です。時と場合によって違うこともあると覚えてくれたらうれしいな。いよいよお話の始まりです。



初めのうちは「絵を見せて」という子供たちの声が聞こえてきました。今は映像を見ているのが当たり前ですから お話を聞くだけというのは なにか物足りなさを感じるのでしょうか。それでも私が構わず読み進め、時々「この鬼さんはどんなことを考えていたのかな？」など 子どもたちがお話を聞いて

なことを感じているのかな？と知りたくて 質問をします。初めは なかなか考えていることが聞かえませんでした。今では 自分なりに感じたことを 言葉で表現してくれるようになってきました。

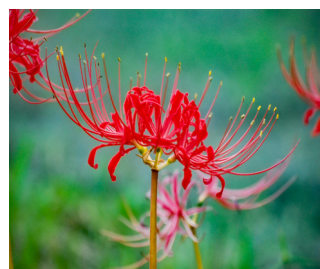
私も子どもの頃

母親が 毎晩読み聞かせをしてくれました。もちろん絵は見ません。でも母親の話を聞いて 時には涙を流したり お腹を抱えて笑ったり 今でもそのお話はよく覚えています。遠い昔のことですが.....

今 私の机の下は

子どもたちに読んであげたい絵本でいっぱいです。

子どもたちから 今日お話ある？と聞かれることが増えてきました。楽しみにしてくれているんだったらうれしいなあ。ちなみに すくすくの子もたちは 楽しいお話が好きだよつです。



ギョウギョウギョウ

もぐもぐ

かみかみ

毎日のランチで、つい最近まで悪戦苦闘をしていた子どもたち。

先生たちが「もぐもぐ」とか「かみかみ」とかいつも言っけど、どうやればいいの？

と先生の口の動きをじっと見ている子どもたち。特にOオさんにとっては

すくすくで初めて食べるものも沢山あるようです。「これなんだろう？、あ、おいしいぞ もつと食べたいなあ」とだんだん食べる種類も増えてきます。なかには「お家とどうしてこんなにちがうのかなあ？」とお口からベエーと出してしまうこともありますが、お家と違ってもおなかやすいたら 出されたものを食べるしかないですからね。そういう環境の中で1才、2才、バタフライさんではほとんどの子がちよとべらい苦手なものがあっても



がんばって食べるようになります。食事は頭・体・心の成長にとって とても大切ですからね。ランチやおやつを作ってくれる栄養士、

人の個性を尊重しながら食を進めています。

今後のOオさんの目標は自分でスプーンをもって食べることです。意欲があつて真似っこが好きな子は上手になっていきます。

バタフライさんは スプーン・フォークから お箸に移行している子どもも増えてきました。

「お家で昨日〇〇食べたよ」「どつてもおいしかったよ」「お母さんお料理上手なの」等楽しいおしゃべりをしながら 楽しく食べています。何でも食べて みんな大きく元気になりますように。

豊かな感情を養い コミュニケーション力を培う

新しい真似っこチャレンジから 意欲が生まれる

(エリクソン)

すくすくルール

- ・ 食べるものを見て食べる。
- ・ 食べるものを残さない。
- ・ おいしかったらおいしいという。
- ・ 物を大切にします。
- ・ 人の話をささぎって自分の話をしない。
- ・ 質問されたら正確に答える。